

祝 令和5年 春の叙勲

旭日双光章 (地方自治功勞)



自立のまち金ケ崎へ 町民主体のまちづくりを進める

高橋 由一^{よしいち}さん (76歳)
下百岡在住

町助役 (平成14年6月～平成17年11月)、町長を4期16年 (平成18年3月～令和4年3月) 務め、自立のまち金ケ崎の基盤の確立に取り組む。現在は農業に従事。趣味は読書。妻と2人暮らし。

農作業の傍ら、取材に応じてくれた由一さん



金ケ崎町が「合併しないまち」を選択した後のかじ取りから始まった。「自立のまち金ケ崎」実現のため、金ケ崎の魅力や独自性をどのように出し、県内市町村における立ち位置を確立していくかが求められた。

「自立のまち」には、町民主体のまちづくりが重要であると考えた由一さん。町民懇談会をはじめ、町民が町政に参加できる機会を創出するとともに、財政改革にも精力的に取り組む、収支バランスや第三セクターの課題解消を図った。時代の変化に対応できる職員の資質向上のため、職員の研修や派遣、人事交流も積極的に行った。

町政運営の土台にあったのは町民憲章。単に継承・発展を目指すのではなく、英語教育や男女共同参画の条例制定、光ファイバー網の整備など、常に未来を予測して政策を実行してきた。「さまざまな課題はあったが町民の皆さんに支えられた。関係機関の皆さんの協力もあり、金ケ崎町はここまでこれた」と振り返る由一さん。

妻の宏子^{ひろこ}さんには「仕事は24時間勤務のようなもの。健康で仕事ができるのは妻のおかげ」と感謝する。

今後は「辞めても関係機関とのパイプ役はしないとイケない」と思っている。みんなで町を支えるという気持ちで、町民として町の将来と一緒に考えていきたい」と力強く話してくれた。

広報日記



今月は、囃子屋台や子供騎馬武者行列など、久しぶりに町内で行われたイベントを取材させていただきました。どちらも動いている被写体の写真撮影なので、撮っては走りの繰り返しで、取材後には、健康ポイントの歩数もだいぶ増えていました。広報担当4年目になりますが、これまで中止・縮小していたイベントもあり、初めて取材に伺うケースも増えてきました。取材でお会いする際はどうぞよろしくお願いたします。(村口)



町公式 LINE
情報発信中

人口と世帯		4月30日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,174人	(+ 45)	
男	7,806人	(+ 24)	
女	7,368人	(+ 21)	
世帯数	6,322世帯	(+ 68)	

